

がん検診について

はじめに

がんによる死亡者数は年間 30 万人を超え、死亡原因の第 1 位を占めます。現在、日本では国民の 2 人に 1 人が生涯のうちにがんを経験し、3 人に 1 人ががんで亡くなっています。決して人ごとではないがん。がん検診、忘れずに受けていますか？

『がん』と聞くと『命』と直結するようなイメージを持つ方も多いと思います。確かにがんは進行すると、生命を大きく脅かします。しかし、昨今の診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見・早期治療を行うことで、がんを克服することが可能となっています。

したがって、がん検診を受け早期発見することで、がんによる死亡を減らすことが期待できるのです。



国のがん検診の指針とは

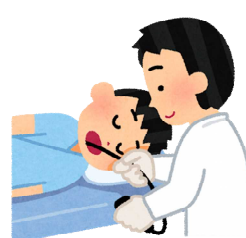
早期発見が重要とはいえ、ただやみくもに検査を繰り返しては、受ける方の負担も大きいですし、費用面でも大きな問題があります。そこで、近年ではがん検診の効果を科学的な方法で評価したうえで、『効果がある』ものを公共政策として実施するのが国際標準となっています。わが国でもがん検診の効果を検証し、科学的根拠をもってがん死亡率の減少が認められるとされた『胃がん』・『子宮頸がん』・『肺がん』・『乳がん』・『大腸がん』（いわゆる 5 大がん）について一次検診として『科学的根拠に基づいたがん検診(※表・次ページに掲載)』が行われています（厚生労働省の『がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（平成 28 年一部改正）』に定められた検診）。

表. 指針で定めるがん検診の内容 (厚生労働省ホームページより引用、一部改変)

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、 胃部X線検査または胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 (※1)	2年に1回 (※2)
子宮頸がん検診	問診・視診・子宮頸部細胞診および内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	質問(問診)・胸部X線検査および喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診および乳房X線検査(マンモグラフィ) ※視診・触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診および便潜血検査	40歳以上	年1回

※1：当分の間、胃部X線検査については40歳以上に対して実施可

※2：当分の間、胃部X線検査については年1回実施可



一次検診とは

がん検診は、主に一次検診と二次検診の2本立てと理解するとよいでしょう。

まず一次検診として、一見健康な人に対して検査を行い『要精密検査(がんがありそう)』、『異常なし(がんはなさそう)』ということを判定します。『がんがありそう』とされる人に対して、二次検診(精密検査)で診断し『救命できるがん』を発見することを目的としています。この一次検診は、対象となるすべての方に受けていただくことが望ましいと思います。医療機関に通院されている方の中には、『別に検診を受けなくても、いつも通院しているのだから大丈夫』と思っておられる方もいます。しかし、高血圧や糖尿病などの生活習慣病で通院している場合に、診察内容や検査値の推移から医師が、がんの存在を疑えば検査は行われますが、必ずしもがんについて一律に検査をしているわけではありません。検診については、担当医と必ず相談するようにしましょう。

二次検診(精密検査)とは

次に二次検診(精密検査)についてです。ここで対象となるのは、一次検診で『要精密検査(がんがありそう)』と通知が来た人です。ここで二次検診を受けなければがん検診自体の意義が大きく損なわれてしまいます。例えば、便潜血検査で陽性と通知が来たのに30~40%がそのまま医療機関を受診されていないと言われていています。『なんとなく痔だと思って数年放っていた』という方が体調不良となり、ようやく精密検査を受けたところ切除不能な進行大腸がんであった、という事例を経験することがあります。初回の検診で、速やかに二次検診を受けておられればと思うと、残念でなりません。現在、早期大腸がんであれば、ほぼ100%完治できる時代ですので大変もったいない話だと思います。

厚生労働省では、『がんの早期発見・早期治療につながるため、がんの死亡者を更に減少させていくためにはがん検診の受診率向上および精度管理の更なる充実が必要不可欠である』としています。更に、がんの一次検診受診率を50%以上にすること、二次検診(精密検査)の受診率を90%以上とすることが目標とされています。せっかくのがん検診、有意義なものにしたいですね。

終わりに

最後にひとつ注意していただきたいのが、検診の対象は原則『無症状の人』であることです。『胃が痛いから』、『便に血が混じるから』という理由で一次検診を受けに来ました、というのは本来の目的から外れます。このような場合は、検診の対象ではなく、医師のよる診察のもと保険診療において精密検査を受けていただくこととなりますのでご注意ください。担当医と相談しましょう。

冒頭でもお話ししましたように、がんは決して人ごとではありません。今回のお話を読んでくださった方々が正しい知識をもってがん検診を受け、がんになっても早期治療で克服し明るい人生を送っていただけることを願っています。

医療法人蘭和会 布上内科医院 布上朋和

お問い合わせ先：津山市健康増進課 TEL 0868-32-2069